



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス
 コード番号 4812 URL <https://www.isid.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 名和 亮一
 (氏名) 初木 直人
 TEL 03-6713-6160

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	80,182	9.9	9,305	22.4	9,118	20.9	6,018	16.6
2019年12月期第3四半期	72,963	12.9	7,602	34.3	7,539	32.9	5,160	36.2

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 6,223百万円 (23.7%) 2019年12月期第3四半期 5,029百万円 (37.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	184.72	
2019年12月期第3四半期	158.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	96,762	58,331	60.3
2019年12月期	87,305	54,882	62.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 58,309百万円 2019年12月期 54,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		35.00		42.00	77.00
2020年12月期		43.00			
2020年12月期(予想)				43.00	86.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	4.3	10,500	4.2	10,217	5.9	6,911	11.0	212.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	32,591,240 株	2019年12月期	32,591,240 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	8,889 株	2019年12月期	8,869 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	32,582,359 株	2019年12月期3Q	32,582,513 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

単位：百万円

	2019年12月期 第3四半期累計	2020年12月期 第3四半期累計	増減	前年同期比
売上高	72,963	80,182	+7,219	109.9%
営業利益	7,602	9,305	+1,703	122.4%
営業利益率	10.4%	11.6%	+1.2p	—
経常利益	7,539	9,118	+1,579	120.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,160	6,018	+858	116.6%

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調でスタートしたものの、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により急速に悪化しており、極めて厳しい状況にあります。感染症収束の時期が見通せない中、国内外経済の先行き不透明感も強く、企業業績へのマイナス影響は長期化することが懸念されます。情報サービス産業につきましても、革新的なサービスの創出やビジネスプロセスの変革に向けた企業のIT投資需要は底堅く推移しているものの、一部の企業で業績悪化に伴うIT投資抑制や先送りの動きがみられはじめています。

かかる状況の下、当社グループは、2021年12月期を最終年度とする中期経営計画「ISID X(Cross) Innovation 2021」に沿って、事業拡大に取り組んでおります。活動の基本方針として、「主力事業の進化」「新規事業の創出」「事業基盤の革新」の3点を掲げ、2021年12月期に連結売上高1,100億円、連結営業利益110億円、連結営業利益率10.0%、ROE12.5%の達成を目指しています。中期経営計画の2年目となる当連結会計年度は、既存事業の強化およびX Innovationの推進による新規ビジネスの創出にさらに取り組むとともに、人材力の強化、研究開発投資の拡大等を通して成長基盤の強化を図っております。

当第3四半期連結累計期間は、売上高80,182百万円(前年同期比109.9%)、営業利益9,305百万円(同122.4%)、経常利益9,118百万円(同120.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益6,018百万円(同116.6%)となりました。

売上高については、当社グループが営む4事業のうち、ビジネスソリューションおよびコミュニケーションITが好調に推移した結果、前年同期比で増収となりました。利益面につきましても、増収効果に加え、前期に低採算となった案件の影響解消およびソフトウェア製品の収益性向上等により売上総利益率が向上し、前年同期比で大幅な増益となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、コンサルティングサービスを中心に一部の案件において中止や延期等が発生しましたが、当第3四半期連結累計期間においては、業績への影響は限定的なものとなりました。

報告セグメント別の売上高、営業利益および営業の状況は以下のとおりです。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用の配賦方法を各セグメントの実態に合った合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の利益又は損失の算定方法に基づき作成したものを記載しております。

■報告セグメント別売上高および営業利益

単位：百万円

報告セグメント	2019年12月期 第3四半期累計			2020年12月期 第3四半期累計			増減額	
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益
金融ソリューション	18,409	1,285	7.0%	17,796	1,175	6.6%	△613	△110
ビジネスソリューション	14,245	1,799	12.6%	16,073	2,257	14.0%	+1,828	+458
製造ソリューション	21,982	1,700	7.7%	22,074	1,487	6.7%	+92	△213
コミュニケーションIT	18,326	2,816	15.4%	24,238	4,385	18.1%	+5,912	+1,569
合計	72,963	7,602	10.4%	80,182	9,305	11.6%	+7,219	+1,703

■報告セグメント別営業の状況

金融ソリューション

金融機関をはじめ企業における各種金融業務を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、政府系金融機関や流通系金融機関向け案件が拡大した一方、メガバンク向け案件が減少したことにより、減収となりました。利益については、前期に低採算となった案件の影響が解消したものの、減収の影響等により減益となりました。

ビジネスソリューション

基幹システムや経営・人事管理分野を対象としたITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、企業の働き方改革実現や、既存システムの老朽化・サポート期間終了を契機とするシステム更改需要が底堅く推移したことにより、人事管理ソリューション「POSITIVE」、会計ソリューション「Ci*X」および連結会計ソリューション「STRAVIS」等自社開発のソフトウェア製品が好調に推移し、増収となりました。利益につきましても、新製品開発を目的とした研究開発投資は増加したものの、増収効果および収益性の向上により、増益となりました。

製造ソリューション

製造業の製品開発/製造/販売/保守にわたる製品ライフサイクル全般を対象とするITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部のコンサルティングサービス案件で中止や延期等が発生しましたが、自動車業界向けを中心に、PLM*1やCAE*2等ソフトウェア商品の販売・導入が堅調に推移し増収となりました。利益につきましても、収益性の高いコンサルティングサービスの売上高減少を主因に減益となりました。

*1 PLM: Product Lifecycle Management

*2 CAE: Computer Aided Engineering

コミュニケーションIT

電通グループに対する基幹システムの提供および電通グループとの協業によるITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、電通グループの基幹システム領域における大型のシステム更改案件が堅調に推移したことに加え、電通グループとの協業による顧客のデジタルトランスフォーメーションを支援するビジネスが拡大し、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して9,457百万円増加し、96,762百万円となりました。流動資産は、サブスクリプション型サービス拡大に伴う前払レンタル料を中心とした前渡金の増加を主因として、前連結会計年度末と比較して6,837百万円増加し、76,565百万円となりました。固定資産は、関連会社への出資があったほか、繰延税金資産の増加等により、前連結会計年度末と比較して2,621百万円増加し、20,197百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末と比較して6,007百万円増加し、38,430百万円となりました。流動負債は、前受レンタル料・保守料を中心とした前受金の増加を主因として、前連結会計年度末と比較して5,648百万円増加し、35,104百万円となりました。固定負債は、長期リース債務、資産除去債務の増加等により、前連結会計年度末と比較して360百万円増加し、3,326百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当があったものの、主に当社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末と比較して3,448百万円増加し、58,331百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は期初計画を上回る水準で推移しているものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響に対し多くの企業が慎重な姿勢を崩しておらず、第4四半期の動向は不透明な状況にあります。このため、通期業績予想につきましては2020年2月10日に発表した予想値を据え置きます。今後、状況の進展や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,497	2,844
受取手形及び売掛金	20,263	20,574
商品及び製品	152	197
仕掛品	2,332	2,146
原材料及び貯蔵品	23	24
前渡金	8,634	13,812
預け金	33,666	35,783
その他	1,169	1,184
貸倒引当金	△11	△2
流動資産合計	69,728	76,565
固定資産		
有形固定資産	4,574	4,267
無形固定資産	3,233	4,746
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,952	11,379
貸倒引当金	△183	△196
投資その他の資産合計	9,769	11,183
固定資産合計	17,576	20,197
資産合計	87,305	96,762
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,668	8,604
未払法人税等	1,781	2,404
前受金	10,097	13,529
受注損失引当金	575	322
その他	9,334	10,243
流動負債合計	29,456	35,104
固定負債		
退職給付に係る負債	34	41
資産除去債務	946	1,012
その他	1,986	2,272
固定負債合計	2,966	3,326
負債合計	32,423	38,430

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	31,238	34,487
自己株式	△30	△30
株主資本合計	54,675	57,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	324
為替換算調整勘定	115	61
その他の包括利益累計額合計	183	385
非支配株主持分	23	21
純資産合計	54,882	58,331
負債純資産合計	87,305	96,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	72,963	80,182
売上原価	48,817	52,551
売上総利益	24,146	27,630
販売費及び一般管理費	16,543	18,325
営業利益	7,602	9,305
営業外収益		
受取利息及び配当金	30	28
保険配当金	62	59
助成金収入	22	56
投資事業組合運用益	-	19
雑収入	9	45
営業外収益合計	125	210
営業外費用		
支払利息	23	30
持分法による投資損失	125	277
為替差損	15	37
投資事業組合運用損	16	-
雑損失	7	51
営業外費用合計	187	397
経常利益	7,539	9,118
特別利益		
投資有価証券売却益	265	-
特別利益合計	265	-
特別損失		
投資有価証券評価損	66	119
事業整理損	59	-
特別損失合計	126	119
税金等調整前四半期純利益	7,679	8,999
法人税、住民税及び事業税	2,848	3,560
法人税等調整額	△336	△582
法人税等合計	2,512	2,977
四半期純利益	5,167	6,021
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,160	6,018

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	5,167	6,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	255
為替換算調整勘定	△146	△53
その他の包括利益合計	△137	201
四半期包括利益	5,029	6,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,022	6,220
非支配株主に係る四半期包括利益	7	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2020年10月30日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

1. 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2020年12月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	32,591,240株
株式分割により増加する株式数	32,591,240株
株式分割後の発行済株式総数	65,182,480株
株式分割後の発行可能株式総数	196,000,000株

(3) 分割の日程

基準日公告日	2020年12月11日
基準日	2020年12月31日 (実質的には2020年12月30日)
効力発生日	2021年1月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益	79円19銭	92円36銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

3. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2021年1月1日をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更いたします。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線は変更箇所を示しております。)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>9,800万株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>196,000,000株</u> とする。

(3) 定款変更の日程

効力発生日 2021年1月1日

4. その他

資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	18,409	14,245	21,982	18,326	72,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,409	14,245	21,982	18,326	72,963
セグメント利益	1,285	1,799	1,700	2,816	7,602

(注)セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	17,796	16,073	22,074	24,238	80,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,796	16,073	22,074	24,238	80,182
セグメント利益	1,175	2,257	1,487	4,385	9,305

(注)セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用の配賦方法を各セグメントの実態に合った合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法に基づき作成したものを記載しております。